

単元名

おはなしをよもう「サラダでげんき」

平成30年10月22日

男子19人 女子12人 計31人

1年3組教室

本単元で育成を目指す資質・能力

思考力・判断力・表現力

1 単元について

単元観

本単元は、小学校学習指導要領国語科「第1学年及び第2学年」の「C読むこと」(1)ウ「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」を受けて設定している。

本教材は、りっちゃんという幼い少女が病気になったお母さんのために、繰り返し登場する動物たちに助けられながらサラダ作りをし、それを食べたお母さんが元気になるという物語である。サラダ作りに協力する動物が誰かを明らかにする。その上で、行動や会話から、動物が薦めた材料とその効果を読み取ることができる。また、登場人物と自分を重ね合わせやすく、物語の世界に入り込みやすい。場面の様子について想像を広げることで、展開のおもしろさを感じながら読むのに効果的な教材である。

児童観

本学級の児童は、これまで5つの文学作品で学習してきた。リズムよく音読をしたり、場面の様子を想像して音読や読み取りをしたりしてきた。文を書くことに少しずつ慣れ、文字を書く楽しさも感じてきている。さらに、動作化や劇化をすることで、登場人物と自分を重ね合わせ、物語の世界に入り込む体験も重ねてきている。また、「友達と自分の考えを伝え合うことが好きか」というアンケートでは、90%の児童が好きと答えており、友達の意見と自分の意見を伝え合う楽しさを実感している。しかし、「自分の考えを書くことができる」と捉えている児童は63%である。このことから、自分の考えを書く活動を手立てとしながら、文章の内容を正確に読み取る力を育てる必要がある。

指導観

【生徒指導の三機能との関連】

「自己決定の場を与える」機能を生かして、授業の導入では、読み取る目的と「自分だったら・・・」と考える、読みの視点を確認する。また、文章の内容を読み取る時には、読み取った内容を書かせる時間を十分に確保し、一人で考える時間を設定する。振り返りの時間には振り返りシートを活用し、自分の考えを再確認させることで、自分の考えを一人一人に明確にもたせていきたい。

【資質・能力の育成】

本単元では、「思考力・判断力・表現力」のうち、特に「思考力・判断力」を育てることを重視して単元を構成している。単元の導入では、「おおきなかぶ」と本教材を比較して、お話のおもしろさに気付かせ、学習への意欲付けをする。また、読み取る活動では、登場人物の登場順序や、動物たちが薦めた材料とその効果を、登場人物の行動や会話から読み取り、ワークシートにまとめていく。思考を見える化することで、自分の思考を深めたり、友達の思考と比べたり、物語の大事な言葉を捉えたりする力を付けることができる。また、問題解決の中で、友達と交流する活動を設定することで、取り出すべき情報について正誤を見分け、選択・決定していくことが判断力を育成する一歩だと考える。振り返りでは、思考の過程を再確認する時間を設定する。

【阿賀中学校区研究主題との関連】

言語活動では「りっちゃんへお手紙を書く」活動を設定した。手紙は、本文中に使われていた言葉や書きぶりを活用すると書くことができることを導入で伝えることで、目的意識をもって読み取っていくこととなる。「自分ならどんなことを教えるのか」「どの動物の後に教えてあげたら良いのか」と想像させながら主体的に読むことで、阿賀中学校区の目指す子ども像である「主体的に学び、ともに伸びようとする児童生徒」を育成していく。

また、生活科「たねをうえよう」「せわをつづけよう」と関連させながら学習を進めたり、学習発表会で「サラダでげんき」の劇をしたりすることによって、目指す子ども像に近づけることができる。と考える。

単元の目標		
国語への 関心・意欲・態度	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
○ 繰り返しのある物語に興味をもって、書かれている事柄を読もうとする。	○ 場面の様子や登場人物の行動について想像を広げながら、お話を読み取ることができる。	○ 文の中における主語と述語との関係に注意することができる。
単元の評価規準		
国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
① 繰り返しのある物語に興味をもち想像を広げながら読もうとしている。 ② 読み取った内容を生かしてりっちゃんに手紙を書いたり、手紙を読んだ感想を伝えたりしようとしている。	① どの動物がどの順序で出てきて、何を教えたのかを読み取り、登場人物の役割と順序性の意味を捉えている。 ② 自分の経験と結び付けて読み取り、思いや考えをまとめている。	○ 文の中における主語と述語の関係（「だれが」「どうした」）やかぎを捉えて物語を読んでいる。

2 指導計画（全12時間）

次	時	学習内容	評 価			
			関	読	言	
一	1	課題意識を持つ 学習課題を確かめ、学習の見通しをもつ。	○			○ ファンタジー作品を読んだ経験を想起し、「りっちゃんに手紙を書こう」という学習課題を確かめ、全文を音読して内容の大体を捉えようとしている。 (行動観察, 発言)
	2	「おおきなかぶ」と読み比べ、作品のおもしろさに気付く。		○		○ お話のおもしろさについて、感想を書いて交流している。 (ノート, 発言)
二	3	整理・分析 のら猫がしたことや、そのときの場面の様子を読み取る。		◎	○	◎ 出てきた順番を確かめ、自分の経験と結び付けて、のら猫が薦めた材料とその効果を読み取っている。 (ワークシート, 発言) ★【思考力・判断力・表現力】
	4	犬がしたことや、そのときの場面の様子を読み取る。		◎	○	◎ 出てきた順番を確かめ、自分の経験と結び付けて、犬が薦めた材料とその効果を読み取っている。 (ワークシート, 発言) ★【思考力・判断力・表現力】
	5	すずめとありがしたことや、そのときの場面の様子を読み取る。		◎	○	◎ 出てきた順番を確かめ、自分の経験と結び付けて、すずめとありがが薦めた材料とその効果を読み取っている。 (ワークシート, 発言) ★【思考力・判断力・表現力】
	6	馬と白熊がしたことや、そのときの場面の様子を読み取る。		◎	○	◎ 出てきた順番を確かめ、自分の経験と結び付けて、馬と白熊が薦めた材料とその効果を読み取っている。 (ワークシート, 発言) ★【思考力・判断力・表現力】

	7	アフリカ象がしたことや、そのときの場面の様子を読み取る。【本時】	◎	○	◎ 出てきた順番を確かめ、自分の経験と結び付けて、アフリカ象の役割を読み取っている。 (ワークシート, 発言) ★【思考力・判断力・表現力】
	8	サラダを食べたときのお母さんとりっちゃんの気持ちを読み取る。	○		○ 自分の経験と結び付けて読み取り、思いや考えをまとめている。 (ワークシート, 発言)
	9	どんな動物が出てきたか順序に気をつけて整理する。	○		○ どの動物がどんな順序で出てきたのか確かめながら、役割と理由を読み取っている。 (ワークシート, 発言)
三	10	手紙で伝えたいことを考え、手紙を書く。	○		○ 読み取ったことを生かして、手紙を書いている。 (行動観察, 発言)
	11	振り返り 書いた手紙を読み合い、交流する。	○		○ 書いた手紙を読み合い、感想を伝え合おうとしている。 (手紙, 行動観察)
	12	学習を振り返る。	○		○ 振り返る視点に沿って、自分の言葉で表現しようとしている。 (振り返りシート)

3 本時の展開 (本時 7/12)

(1) 本時の目標

アフリカ象が薦めた材料とその効果を、アフリカ象の行動や会話から読み取り、アフリカ象が伝えたかったことを自分の言葉でまとめることができる。

【国語科/読む能力】【資質・能力/思考力・判断力・表現力】

(2) 本時の展開

	学習活動	○指導上の留意点 ☆生徒指導の三機能につながる手立て ◆「支援を要する」児童への手立て	○具体的評価規準 (評価方法) ★資質・能力
出会う・つかむ	1 本時のめあてを確認する。	○ 前時までの動物が薦めた材料とその効果を思い出すと同時に、「自分だったら・・・」という読みの視点を確認させる。	
	アフリカぞうはりっちゃんになにをつたえたかみつけよう。		
考える・深める	2 学習範囲を音読する。	○ どこからが「アフリカ象」の場面になるのかを考えさせて、様子を想像しながら音読させる。	★ アフリカ象がしたことや、効果を読み取っている。【思考力・表現力・判断力】
	3 アフリカ象の場面について読み取り、交流する。	○ 「キューン、ゴーゴー、キュー」に着目させ、アフリカ象が飛行機で来たことに気付かせ、「とつぜん」「せかせか」などの言葉に着目させて、その理由を考えさせる。 ○ サラダに入れるもの、食べるとどうなるかが書かれているところを見つけ、分けてまとめる。 ○ 「ぼくのしごと」「カブよく」という言葉から、アフリカ象は自分の得意なことを生かし	

	<p>4 アフリカ象の伝えたかったことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>てサラダづくりを手伝ったことを読み取らせる。</p> <p>○ これまでと少し違うこと（食べるとどうなるかが書かれていない）に気付かせ、アフリカ象が最後に来たことでどんなサラダができたか交流する。</p> <p>◆ 適宜動作化を取り入れて、場面を想像させやすくする。</p> <p>○ アフリカ象が最後に来て、どんなサラダができたかを考えることで、アフリカ象の伝えたかったことを想像しやすくする。</p>	<p>○ アフリカ象の伝えたかったことを自分の言葉でまとめている。（ワークシート、発言）</p>
<p>【自己決定の場を与える】</p> <p>☆ ワークシート 自分の言葉でのまとめ 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの動物と、アフリカ象は役割が違うんだね。 ・サラダをまぜるのは、象にしかできないよ。 ・まぜるのは、力の強い象の特技だよ。 ・やっぱり象は最後でないとだめだよ。 ・アフリカ象の伝えたかったことを考えて、自分で書くことができたよ。 			
<p>例： ぼくは、りっちゃんのお母さんに、力持ちになって元気をあげたかったんだよ。</p>			
ふりかえる	<p>5 振り返りをする。</p>	<p>○ 目指す資質・能力「思考力・判断力」を中心に振り返る。</p>	

【単元で育成を目指す資質・能力に係る児童生徒の変容について】

事前のアンケートでは、「自分の考えを書くことができる」と捉えている児童は63%であり、考えをもっていない児童や、どのように書いたらよいのか、書き方が分からず書けない児童がいた。このことから、自分の考えを書く活動を手立てとしながら、文章の内容を正確に読み、自分なりに想像を広げて読む力を育てる必要があった。

単元を通して文章を読む際には、登場人物の行動や会話を根拠として、想像を広げながら文章を読むことができるよう、登場人物の登場順序や、動物たちが薦めた材料とその効果を考えさせた。また、その考えを可視化できるようワークシートを活用して指導した。

その結果、児童は、教材文の文章を抜き出すだけでなく、自分の言葉を使って、登場人物のつぶやきを吹き出しに書くことができた。また、書いたことを交流し、自分のワークシートに付け足すことで自分の思考を深めたり、友達の思考と比べたり、物語の大事な言葉を捉えたりする力を付けることができた。さらに、振り返りの観点を決め、友達と自分の考えを比べることで、自分の考え

をより明確に書くことができるようになったり、想像をさらに広げて自分の言葉で表したりすることができるようになった。単元の始めは、ワークシートに教材文を抜き出すこともできなかった児童が、抜き出した文章に、自分が考えた言葉を付け足すことができるようになった。また、交流することで正誤を見分け、選択・決定することができる児童が増えた。以上のことから、思考力・表現力が高めることができた。

効果を考える際に使用したワークシートの評価 (%)

【全体の変容】

	登場人物	A	B	C
3時	のらねこ	32	52	16
4時	犬	26	55	19
5時	すずめ	32	54	14
	あり	45	42	13
6時	うま	48	39	13
	白くま	29	58	13
7時	アフリカぞう	36	58	6

【A】サラダに入れるものや入れるとどうなるかを書いて、伝えたかったことの原因を二つつけるか、自分の言葉でまとめて書くことができている。

【B】サラダに入れるものや入れるとどうなるかを書いて、伝えたかったことの原因をつけて書くことができている。

【C】サラダに入れるものや入れるとどうなるかを書いて、伝えたかったことを書くことができている。

【個の変容】

(B⇒Aに変容した児童のワークシートの記述)

B かつおぶしをすると りっちゃんのおかあさんは とっても すごく げんきになるよ。
木のぼりも すごく じょうずになるよ。

A にんじんをいれると かけっこは まいにちまいにち 一とうしょうだよ。 えいようもた
くさんあるよ。

(C⇒B⇒Aに変容した児童のワークシートの記述)

C たいせつに がんばってつくったから、 せったいたべてね。 おかあさんもげんきになるよ。

B こそこそ、おさとうは、 ぜったいにいれてね。 はたらきものになると、 とってもげんきな
おかあさんになるよ。

A にんじんはあかいから、 もえて、 いつもかけっこをやるんだよ。 おかあさんはだいじょう
ぶ？

交流・振り返りカード

ともだちとくらべて わたしは、〇〇さんの、「かいそう (海藻) だから えいようがあるよ。」がわかりました。